

県下の交通事故

(平成8年11月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成7年		4,752件	82人	6,218人
平成8年		5,045件	91人	6,584人
比較		+293件	+9人	+366人



◆ 第115号 ◆
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827



中央分離帯を乗り越え無残な姿(中央道)

運動の重点

年末年始の交通事故防止県民運動

12月10日(火)から
1月10日(金)まで

- 一、飲酒運転の絶滅
- 二、若者と高齢者の交通事故防止
- 三、シートベルトの着用の徹底

年末年始の交通事故防止県民運動は、この時期には帰省客等が増えて交通が混雑し、さらに飲酒の機会も増えることから、県交通安全協会等が主催し、県、警察、市町村、県交通安全協会等の機関、団体を中心となり、本県独自の運動として、県民総ぐるみの交通事故防止活動を実施してまいります。

全国の交通事故による死者は、十一月二十日現在、八千六百七十五人で、昨年同期より五百八十七人減であり、このまま推移すると念願の年間死者を一万人以下に抑えることも可能な状況です。

しかし、県内の交通事故による死者は、十一月二十日現在九十一人、前年比九人増で、前年同様の死者二ケタ抑え込みは危ぶまれています。

この事態に対応するため、県警や安協等では、全県民を対象にした「甲斐の路さわやか県民総講習」を広く実施して、交通

安全のために、戦後半世紀、我が国の自動車交通はめざましく発展しましたが、その陰では、交通戦争の名のように、全国で五十万人の方が交通事故の犠牲になりました。

その間、道路環境や交通安全施設などの整備改善、自動車の安全性の向上など、あらゆる面から交通事故の防止対策がとられてきましたが、依然として交通事故は増加の

事故の増勢に歯止めをかけようと努力しています。運動の重点目標は、今年県内で発生した交通事故の分析に基づき設定したものです。

- 飲酒運転による事故は、十月末現在で二百十六件もあり、死者は
- 若者と高齢者の重大事

県警で「死亡事故多発非常事態」発動!!

県内の交通事故による死者は、十月下旬から爆発的な急増を続けておりその衰えを見せないことから、県警交通部では、十一月十八日「交通死亡事故多発非常事態」を発動し、特別対策を樹て悪化している交通情勢を回復させようとして、県警の総力をあげて取り組んでいます。

「一途をたどっています。」「うっかり」事故です。交通事故の増加原因は、自動車や免許保有者の増加にもありますが、それにもまして、交通にかかわる人々の、安全に対する心の育成の面に立ち後れ

「うっかり事故」の防止

県警交通管理調査官 長田 米夫



皆さんの近くで、この講習会が開かれましたら積極的にご参加いただき交通マナーを高め、家族の皆さん共々、交通事故のない明るい新年をお迎えいただきたいと思っています。

があつたものと思ひます。と心を留めれば、これら交通事故は、若者の無謀運転によるような事故もありませんが、その八割は、追突や赤信号の見落としのように、わずかな不注意を欠いた、いわゆる

交差点

▼交通事故を起こしたり、交通違反をした時に「運がわるかった」とか「ツイていない」などとよくいわれます。交通事故は、その運転者がとつた危険な運転行動とぶつかる相手との出会いによって発生するものです。違反した運転者も取り締まり警官との出会いで検挙されるものです。偶然を否定できないまでもその運転者に違反行動が多いからだとはいえるようすです。

▼日本は法治国家ですから議会の議決を経て成立した法律に基づいてのみ権限が行使でき、法を破れば当然取り締まられます。車という危険を伴うものを利用する際の安全確保には、安全手順や安全規範が必要であり、事故防止にはルールとマナーを守ることが大切な要件です。

▼交通事故に遭遇した人が、朝出がけに事故に遭うと予想しながら運転していたという事はないはずですが、また人間は誰でも自分の身がかわいいため、交通事故のこわさを知ると、それに応じた安全運転のための操作をするものです。暗やみに崖っぷちを歩くとときには慎重になります。交通事故を起こして後悔しないためには、事故の真のこわさや、むなしさを知ることが先決のようすです。

第38回県下中学生弁論大会

浅川さん(泉中) 連続優勝

地区代表17人が競う

県警本部と県安協主催の第38回山梨県中学生交通安全弁論大会が、十月



弁論を前に緊張する代表たち

九日甲府市内のニュー機山で開かれ、県下各地区代表の十七人が交通安全の大切さを訴えました。

審査の結果、「美穂ちゃんを生かす一つの道」と題して熱弁を振った泉中三年浅川鮎子さんが昨年に続き優勝し、山梨県知事賞を受賞しました。

優勝は白州中三年葉輪さくらさん、河口湖南中三年長山優子さん、山梨大付属中三年深沢忠広君の三人でした。

(優勝者の弁論全文は新年号に掲載予定)



秋の交通安全運動



交通安全出発式(交対協)



国際色豊かに街頭指導(小笠原)



安協支部対抗の交通安全グレースポール大会(甲府)



増穂町老壮大学講座

創意こらした高齢教育(鰺沢)



親子そろって交通安全パレード(韮崎)



JR駅頭で黄色い羽根を配布(市川)



僧侶19名で交通安全祈願祭(南部)



シートベルト着用を訴える(都留)



違法駐車への指導に出発する前の打合せ(日下部)



クラシックカーの展示(大月)



交通安全シルバーファッションショー(富士吉田)

今年度の研修会では、県内交通事故の死者に高い数値を占めている高齢者の交通事故防止活動に焦点を絞り、高齢者問題に造詣の深い山梨医科大学副学長の入米正躬先生をお招きし「高齢者の生理機能の特徴について」と題する講演をしていただきました。

また、県警交通部企画課の谷内敏夫補佐から、県内の交通情勢と交通事故防止活動のすゝめ方、特に、「甲斐路さわかや県民総講習」の推進についての講演がありました。

年末年始交通安全県民運動など協議

委員(酒井澄男委員長)は、十一月一日、八田村の免許センターで「二輪車指導員」の資格取得の審査を実施しました。

県下初の原付等安全講習実施

この講習には、日野春郵便局の集配係の方等二十二人が参加し、法規に基づき安全運転の指導を受けました。

事故防止へ高齢者の特性など学ぶ

無事故・無違反「GO・GO」作戦

故天野健氏夫人が安全ビデオを寄贈

お知らせ

各地で反射材の普及活動

歩行者・自転車利用者を夜間の交通事故から守ろうと県下各交通安全協会では反射材の普及・販売活動をすすめています。

無事故・無違反「GO・GO」作戦

塩山交通安全協会(植野友規会長)は、塩山警察署等の協力を得て、四月六日から七月十四日までの一〇〇日間、ドライバー五人を一チームとする二五五チームにより無事故・無違反を競う「GO・GO」作戦を展開しました。

故天野健氏夫人が安全ビデオを寄贈

元都留安協会長の故天野健氏の夫人千代子さんが九月九日、「故人の遺志によるものです。交通安全に役立ててほしい」と二十五万円を県安協に寄贈しました。

お知らせ

毎月第一、第三日曜日に実施している原付免許取得時の実技講習の来年最初の予定日は、十一月五日(日)でしたが、これは中止され、一月十二日(日)に変更になりました。



GO・GO作戦の表彰式

熱心に研修する安協役員(県安協)

配布もすすめています。南部商工会開催のナイトパザールを利用して販売。

富士吉田交通安全協会交通安全シルバーパーティー開催し、同所で販売。

鰺沢・市川安協老壮大学、敬老会の会場で効果を訴え販売。

石和安協等高齢者ファッションショーで反射材を寄贈。